

【演習】BPSD・せん妄への対応の事例検討

(要因の検討とケアについて)

事例① BPSD対応の事例

事例② せん妄対応の事例

事例① BPSD対応

〔対応力 I 83〕

▶ 80歳代後半 女性 要支援1

【疾患名】 2型糖尿病の増悪

【既往歴】 アルツハイマー型認知症 白内障 難聴(補聴器使用なし)

【住まい】 夫と2人暮らし

【家族背景】 子ども1人 長女がいるが介護には関わっていない

【ADL】 自立 薬は夫が管理している

【認知機能】 時間と場所の見当識障害、短期記憶障害あり

【コミュニケーション】 複雑な話は理解が難しい

▶ 経過

*最近、料理が困難となり、夫と買い物に行き、買ってきたものを食べていた。定期受診で高血糖のため血糖コントロール不良で入院となった。

*入院初日、入院したことが理解できず、「別に用事ありませんし、もう帰らせてください」、「一人で出口を探します」と帰宅欲求が出現した。

Question ㉑

〔対応力 I 84〕

- ◎ 帰宅欲求が出現した要因を考えてみましょう
- ◎ 本人へのケアを考えてみましょう

事例⑥ せん妄対応

〔対応力 I 88〕

▶ 経過

- * 自宅で立ち上がった時に転倒し、左大腿骨頸部骨折で入院となった。
- * 入院翌日「足が折れると痛いね。明日の手術は大丈夫かな」と手術について認識している。術後は「動く痛いけど大丈夫」と安静保持して過ごす。
- * 術後1日目から患肢の全荷重可、車いす可となり、足踏み訓練開始する。2日目の夜間はそわそわしているも、ベットから動くことはなかった。
- * 術後3日目、夕方からそわそわしている。夜間「だれか、助けて」と大声がある。静かにするよう説明すると「なんだと」と易怒性がある。

Question ⑥

〔対応力 I 89〕

- ◎ 術後3日目に大声と易怒性が出現した要因を考えてみましょう
- ◎ 本人へのケアを考えてみましょう